

小児



コーナー

あじま診療所看護師
末永 千穂

プール熱とは

プール熱は「咽頭結膜熱」と言われ、プールを介して感染しやすいため「プール熱」と呼ばれています。飛沫・接触によって感染する為、保育園や幼稚園、学校など人が集まる環境で流行しやすい病気です。



原因は「アデノウイルス」です。アデノウイルスは1年中みられるウイルスですが、プール熱は6月頃から始まりプール利用の増える7～8月頃にピークを迎えます。

症状としては咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎(目の症状)・発熱です。また、リンパの腫れや倦怠感、下痢や腹痛を起こすこともあります。プール熱の潜伏期間は5～7日です。発症すると1週間～10日程症状が続きますが、自然に治ることが殆どです。治療は解熱剤や点眼液など、症状を和らげる対処療法が主となります。お子さんに症状が出た場合は学校をお休みし、一度受診することをおすすめします。熱が下がり、のどの痛みが取れ、食事も含めて普段の生活に戻れば登校可能です。

